

再び覇權を握る時

を祖ふ勞友會の殘黨が

本日同盟罷工三週年 記念の演説會を開く

八幡製鐵所同盟罷工の念光を以て、今日此の
 演説會の行はれしは、五月廿六日午後六
 時、東京市神田區大塚の八幡製鐵所同盟
 會の會場にて、八幡製鐵所同盟會の
 長、久保 隆安、副長、藤田 明會、
 外に日本勞友會、労働組合、労働組合
 六氏が、熱誠の演説を述べ、労働者の
 爲めに熱誠を振ふべき八幡製鐵所を
 團結するべき同盟會組織を、
 研究會、労働同盟八幡支部（元友
 友會）及び共和會等であるが、前
 三同盟は、然るる労働者で、後者
 は政治團體であるとして、前者の内
 同志が、最も努力強く、會員三千名
 を有し、東洋タイムズに對する旬
 刊新聞を發行し、之に對抗する爲め
 組内長官でも、週刊新聞を發行し、
 方針を誤らぬが、後者の會員数は、
 僅かに十餘名に過ぎぬ。

製鐵所 職工淘汰

八幡製鐵所では、今年に入つても、
 らず職工の淘汰を怠らざる。毎
 日の採掘を行はしめる人の淘汰を
 行はしめる。不足数は、第三期採掘工
 亦從業員の中で、事の終つた者
 を、按じし依然、採掘を行はしめる
 第二、四板の閉鎖及第二、大形の縮
 小を見越し、今後とも、進給して、職工
 の自然淘汰を行はしめるのである。